

福井県教育振興基本計画（案）の概要

◇位置付け

教育基本法（H18.12改正）

第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

国が教育振興基本計画を策定
(平成20年7月1日閣議決定)

◇本県の状況

「教育・文化ふくい創造会議」を設置して、本県特有の教育的課題や文化の振興方策を議論し、提言に基づく具体策を速やかに実行

教育・文化ふくい創造会議 (第1次)	教育・文化ふくい創造会議 (第2次)	教育・文化ふくい創造会議 (第3次)	福井県民の将来ビジョン
(H19年8月～H19年11月)	(H19年12月～H20年9月)	(H20年11月～H22年2月)	(H22年12月策定)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な学力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の「質」を高め、子どもたちの「総合的な学力」を伸ばす ・信頼される親に、地域と共に歩む学校に～家庭の教育力を高め、地域の教育力を活かす～ ○ 教員の指導力向上策 <ul style="list-style-type: none"> ・「共同の学び」が指導力を高める ・「内」から「外」へ、校外研修のススメ ・教育研究所の機能強化 ・大学等との連携で磨く資質・能力 ・教員の意欲を高めるプラス思考の評価システムを導入 ○ 理科・数学教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみ、納得の理科・数学～子どもたち全員の基礎学力アップ ・理数の応用力、実践力を伸ばす～大学進学・就職のための学力アップ ・地域の科学力結集～地域での体験で伸ばす「科学の芽」～ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員が本来の職務に専念するための「学校マネジメント改革」 <ul style="list-style-type: none"> ・組織力で信頼ある学校を築く、新しい学校マネジメントの実践 ・教員が日々の教育活動に専念するための時間を拡充～教員の多忙解消策の充実 ・家庭・地域・行政みんなで支える学校 ・子どもたちの多面的な能力を伸ばす部活動への改革 ○ 少子化時代の学校・学級経営の在り方と教育体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの個性や能力を最大限に伸ばす総合的な教育体制の確立～「元気福井っ子新笑顔プラン」の推進 ・小規模学校における子どもたちの教育環境の充実 ・学校の統廃合問題への適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化のある生活～暮らしの中で文化を楽しむ風土をつくる～ <ul style="list-style-type: none"> ・身近に文化を感じる環境をつくる ・子どもたちの文化の素地を培う ○ 創造～文化の活用により地域を創造する～ <ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の文化資源を生かしてまちづくりを進める ・文化の力で産業力を強化する ○ 人～福井文化を支える人を育てる～ <ul style="list-style-type: none"> ・文化の創り手・演じ手を育てる ・地域の文化活動を応援する ○ 発信～福井文化を世界に発信する～ <ul style="list-style-type: none"> ・「文字の国 福井」を発信する ・全国に誇るべき先人に学ぶ 	<p>「人づくり」先進福井</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井流の学力・体力を活かし次をめざす学校教育 ・体験・交流する地域教育 ・「1県民1スポーツ」の健康づくり <p>新時代のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしを高める「ふくい文化」

○ 「福井県民の将来ビジョン」や「教育・文化ふくい創造会議の提言」を基本に置きながら、今後おおむね10年先を見通した教育の目指すべき姿と、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策を県民に示す

福井県教育振興基本計画(仮称)の策定

計画期間 平成23年度～平成27年度

第1章 教育を取り巻く社会の動向

1 人口減少と少子・超高齢化社会の到来

- 少子化により、学齢人口が減少
- 少子化や過疎化による学校の小規模化や統廃合が進行

2 国際化・グローバル化の進展

- 国際標準のもとでの競争の時代の到来
- 国際社会をリードできる人づくりが重要

3 高度情報化の進展

- 情報通信事情の劇的な変化
- 情報モラル・マナーの修得が必要

4 地球規模での環境問題の深刻化

- 地球温暖化という地球規模の問題
- 地域の特色を生かした環境教育が必要

5 地域コミュニティの希薄化

- 核家族化、都市化により、子どもを取り巻く生活環境が変化

6 雇用形態の変化

- 非正規雇用の増加
- フリーターやニート等、将来を担う若い世代の自立が社会問題化
- 高卒後3年以内の離職率は依然として高い

7 価値観や生活様式の多様化

- 「物質的な豊かさ」より「心の豊かさ」を重視
- 価値観の多様化、女性の社会進出等により生活様式が一層多様化
- 文化・芸術やスポーツ、健康などゆとりを重視し、生活の質を大切にす意識の高まり

8 地方分権の進展

- 地方の創意工夫による教育行政の展開

9 教育改革の動き

- 18年12月教育基本法改正(約60年ぶり)
(ゆとり教育の転換)
- 高校授業料無償化(H22～)
- 新学習指導要領の実施
小学校：23年度から全面实施
中学校：24年度から全面实施
高校：25年度から年次進行

第2章 本県教育の現状と課題

○ 学力の維持・向上

(H22全国学力・学習状況調査結果より)

- 児童生徒の学力は全国最上位
- 苦手の教科に取り組もうとする意欲が弱い
・家で苦手の教科の勉強をしている ()は全国
小6 16.8% (19.2%)
中3 12.2% (14.4%)
- 読書が好きな児童生徒が少ない
・読書は好き ()は全国
小6 46.4% (47.7%)
中3 41.9% (43.7%)

○ 児童生徒の減少への対応

- 少子化の進行により、ピーク時の半分に減少
・児童生徒数の推移 (単位:千人、%)

	H12	H22	ピーク時
小学校	52.3	46.8	(S33) 113.9
中学校	29.0	24.5	(S37) 62.5
高校	29.3	23.9	(S40) 40.5
- 小学校において小規模な学級が増加
・複式学級を保有する小学校数(公立小学校)

	H12	H22
	26	41

○ 学校施設等の安全・安心の確保

- 学校施設の耐震化の促進
・公立学校施設の耐震化率 ()は全国 (H22年4月1日現在)

	小・中学校	県立高校	特別支援学校
	71.5% (73.3%)	77.1% (72.9%)	96.8% (87.9%)

○ 生涯学習の振興

- 福井ライフアカデミーへの参加者数は増加

	H19	H20	H21
参加者数	65,621	69,967	79,742 (人)
- 高齢者の受講増加に対応した公民館など身近な場所での講座の開設
- 県民の多様な学習ニーズに応えるための大学やボランティア講師等との協働

○ 体力・運動能力の維持・向上

(H22全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より)

- 児童生徒の体力は全国最上位
- 持久力は全国平均に比べ著しく高いが、握力・投力はやや劣り
- 昭和60年頃と比較すると体力は低下

		S60	H22
50m走	小5男	9.05	9.20
	小5女	9.28	9.42
ボール投げ	小5男	28.99	26.64
	小5女	16.74	15.77

○ 特別支援教育の充実

- 特別な支援を必要とする児童生徒は増加
・特別支援学校児童生徒数の推移(単位:人、%)

	H12	H22	(増減率)
小学部	262	304	16.0
中学部	202	223	10.4
高等部	302	428	41.7
- 特別支援学級児童生徒数の推移(単位:人、%)

	H12	H22	(増減率)
小学部	287	523	82.2
中学部	157	263	67.5

○ 家庭・地域の教育力の向上

- 6割強の保護者が家庭の教育力の低下を実感
・近年の家庭の教育力をどう思うか

低下・やや低下している	66.5%
向上・やや向上している	27.2%
- 基本的な生活習慣の定着や家庭でのルールづくりが必要

(H20 県内小学校保護者へのアンケート)

- 家の手伝いをよくしている ()は全国

小6	29.6% (31.9%)
中3	17.3% (20.6%)
- 「子育て」「家庭教育」に関する親への啓発

	小6	中3
地域・歴史や自然に関心が低い ()は全国	15.8% (18.1%)	35.4% (34.8%)

○ 「生きる力」の育成

- 基本的なマナーやコミュニケーション能力の育成が必要
- 職業観や目的意識が弱い
(H22全国学力・学習状況調査結果より)
・将来の夢や目標を持っている ()は全国

小6	70.7% (70.2%)
中3	44.1% (44.3%)

○ 不登校の解消

- 不登校児童生徒の出現率は高止まりの状況
・H21 不登校児童生徒数と出現率 ()は全国

小学校	160人	0.34%	(0.32%)
中学校	637人	2.54%	(2.77%)
高校	336人	1.42%	(1.55%)
- 中学1年時に、不登校が3倍に急増
小6(H20):48人 → 中1(H21):144人
- 未然防止を中心に小学校低学年からの対応が重要

○ 地域のスポーツ活動の活性化

- 生活習慣の変化等により、体を動かす機会が減少
・スポーツの年間行動者率

	H8	H13	H18
福井県	72.6%	66.8%	63.0%
全国	74.1%	70.3%	63.5%
- 総合型地域スポーツクラブ(県内18クラブ)の育成

○ 地域の文化活動の活性化

- 文化団体の会員の減少と高齢化、活動の場の不足
・文化活動開始の支障となっている事項

1 時間的余裕がない	35.6%
2 お金がかかる	16.1%
3 身近な指導者や文化活動に関する情報がない	8.5%

(H20年 芸術文化に関するアンケートより)

第3章 本県が目指すべき教育の姿

- 教育基本法に基づく福井県の教育振興基本計画です。
- 教育・文化福井創造会議の提言や「福井県民の将来ビジョン」を基本に置いた教育分野の計画です。
- おおむね10年先の教育の進むべき姿を見通し、5年間に進める施策を示すものです。



夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む 教育県・福井

地域全体の高い教育力をベースに、子どもたちが、将来、社会人として自立し活躍できるよう、夢や希望を持って粘り強く学び・行動する「挑戦力」を最大限に伸ばす教育を、県民や地域、企業などの幅広い協力と参加の下で推進します。

「ていねいな教育」

教員が子ども一人ひとりと向き合って基礎・基本を重視した教育を進めます

「きたえる教育」

一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばし自信とグローバルな視野を持って、夢や希望に向かって挑戦する基礎を築きます

一人ひとりの課題解決に重点を置いた少人数教育による基礎・基本の定着と読解力と活字力の向上を目指した授業づくりを進めます。

知

「福井型18年教育」の確立と、英語教育・サイエンス教育の充実により、挑戦する意欲や応用力、創造力を育みます。

家庭・地域と連携しながら道徳教育やふるさと教育、文化に親しむ環境づくりを進め、基本的な生活習慣や規律ある態度の育成、豊かな心の醸成を図ります。

徳

第一人者との交流や自然体験活動、文化活動、社会貢献活動等を通して、ふるさとへの誇りや社会に貢献する意思、創造力を育みます。

体力・運動能力テスト結果の分析を基に、体力向上を目指した学校体育と、より高い技能の習得を図る運動部活動を進めます。

体

地域の指導者や競技団体との連携を深め、ジュニアから成年までの競技力の向上を目指します。

<福井県がめざす人間像>

- 1 知・徳・体のバランスがとれ、生涯にわたって自らの夢や希望の実現に努力する人
- 2 地域社会や文化の創造に積極的に参画する人
- 3 ふるさとへの誇りとグローバルな視野を持ち、主体的に行動する人



- この計画は、学校の教職員をはじめ教育関係者が共通認識を持ち、創意工夫を重ね実践していく上での土台となるものです。
- 県民の皆様にもこの計画をご理解いただき、社会全体で教育を支える契機にしたいと考えています。
- 計画期間は平成23年度から平成27年度までの5年間です。

次の世代を担う人を育てるため、生まれたときから高校卒業までの発達段階や社会的な成長過程に応じて、学校や地域、家庭等がきめ細かに連携するという視点に立ち、幼児期から高等学校までの教育の充実を図るとともに、学校種間の接続を重視した一貫性のある「福井型18年教育」を進めます。

1 生きる力につながる確かな学力の育成

- ◆ 確かな学力の育成
- ◆ 地域産業を担う人材の育成
- ◆ 幼児教育の推進
- ◆ 特別支援教育の推進

2 豊かな心と健やかな体の育成

- ◆ 豊かな心の育成
- ◆ 健やかな体の育成
- ◆ 生徒指導・教育相談体制の充実

3 信頼される学校づくりの推進

- ◆ 学校マネジメント改革の推進
- ◆ 安全・安心な学校づくり
- ◆ 県立高等学校の再編整備と魅力ある学校づくり
- ◆ 私学教育の振興と支援の充実

4 家庭・地域の教育力の向上

- ◆ 家庭・地域の教育力の向上

5 生涯学習とスポーツの振興

- ◆ 生涯学習の振興
- ◆ 生涯スポーツの振興

6 心豊かな文化の振興

- ◆ 身近に文化を感じる環境づくり
- ◆ 文化教育の推進
- ◆ 「文字の国 福井」の推進

第4章 5年間の施策の展開

1 生きる力につながる確かな学力の育成

子どもたちに基礎・基本の徹底を図り、確かな学力を身に付けさせるとともに、サイエンス教育や英語教育など時代の進展に対応する教育を推進します。
また、キャリア教育や特別支援教育を推進し、子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力や創造力を育みます。

1 確かな学力の育成

- ① 知識・技能の確実な習得と活用力の育成
 - 「元気ふくいっ子学力向上センター」を核とした小・中学校の授業の改善
 - 高校生学力向上推進委員会等による教科指導の改善
 - 新聞を活用した教育の推進による情報活用力やコミュニケーション能力等の育成
- ② 少人数教育によるきめ細かな指導の推進（「元気福井っ子新笑顔プラン」の見直し）
 - 本県独自の少人数学級編制の充実
- ③ 教員の指導力向上
 - 教員同士の学び合いの促進
 - 大学や企業等との連携による指導力の向上
 - 教育研究所による教員支援の強化
- ④ 理科・数学教育の充実
 - サイエンスの基礎学力の定着
 - 大学・企業の参加によるサイエンスの応用力・実践力の向上
 - 地域とともに伸ばす子どもたちの「科学の芽」
- ⑤ 国際人を育成する英語教育の充実
 - 語学音声教育の推進による実践的なコミュニケーション能力の育成
 - 小学校段階からの外国語活動の推進
- ⑥ 情報教育の充実
 - 子どもたちの情報活用能力と情報モラルの育成
 - 教員の情報教育指導力の向上

「元気福井っ子新笑顔プラン」による少人数学級編制(平成23年度)

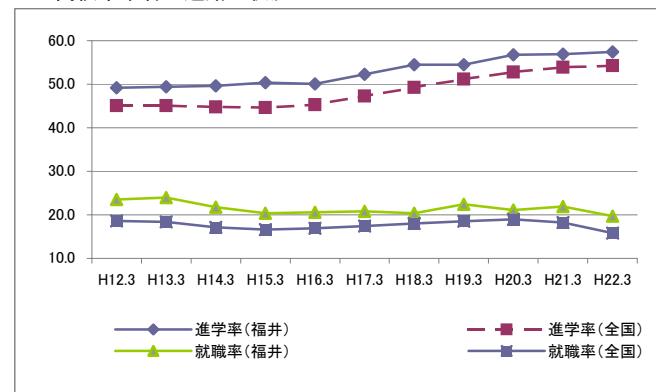
学年	ねらい	学級編制基準
小学校1・2年	社会生活上のルールを指導	1年:35人、2年:40人 31人以上の学級に非常勤講師を配置
小学校3・4年	生活指導から学習指導へ	40人 31人以上の学級でTT・少人数指導を
小学校5・6年	学力向上のための教科指導の充実	36人
中学校1年	学力向上、不登校等の未然防止	30人
中学校2・3年	学習・進路・生徒指導等の充実	32人

- ⑦ 白川文字学による独自の漢字学習の推進
 - 白川文字学を活用した漢字学習の確立と定着
 - 漢字学・白川文字学を学ぶ人材の育成

2 地域産業を担う人材の育成

- ① キャリア教育の充実
 - 将来の夢と希望を伸ばし育てる教育の推進
 - 職業体験を軸としたキャリア教育の充実
- ② 高校での職業教育の推進
 - 職業系高校生の資格取得の応援
 - 地域の産業のための人材育成
 - 職業人としてのモラルと態度の育成

高校卒業者の進路の状況



3 幼児教育の推進

- ① 幼児教育の推進
 - 幼児教育センター(仮称)による幼児教育の推進
 - 地域や家庭を取り込んだ幼児教育の質の向上

就学前児童の保育状況

	児童数計	幼稚園	保育所	家庭等
3歳児	7,318	1,488	5,475	355
4歳児	7,028	1,602	5,421	5
5歳児	7,242	2,301	4,901	40
計	21,588 (100.0%)	5,391 (25.0%)	15,797 (73.2%)	400 (1.9%)

4 特別支援教育の推進

- ① 特別支援学校の適正配置と機能の充実
 - 特別支援学校の環境の充実
 - 障害に対応した機器整備と活用能力の育成
 - 高等学校段階の教育の充実
 - 特別支援学校の専門性の向上
- ② 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実
 - 発達段階に応じた関係機関との連携の強化
 - 小中学校等における発達障害の早期発見・早期支援

2 豊かな心と健やかな体の育成

いじめや不登校、高等学校中途退学、非行・問題行動などの課題に取り組むとともに、道徳教育の一層の推進や体験活動の充実などにより、子どもたちの豊かな心を育みます。
また、健康の保持増進や体力の向上などにより健やかな体を育成します。

1 豊かな心の育成

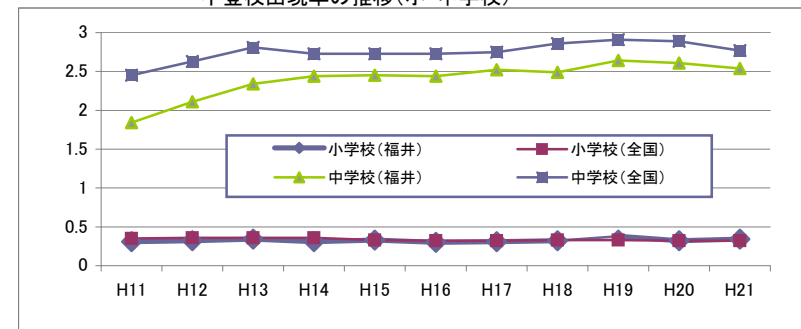
- ① 道徳教育の充実
 - 独自教材による道徳教育の充実
 - 保護者・地域参加型の道徳授業
 - 子どもと地域を「ことばで結ぶ」絆づくり運動
 - 道徳的実践の場としての体験活動・奉仕活動の充実
- ② 人権教育の充実
 - 計画的・組織的な人権教育の推進
 - 指導者の育成と資質の向上
 - 人権教育の指導内容および指導方法の工夫・改善
- ③ 豊かな体験活動の推進
 - 時代のニーズに対応した新たな体験学習の構築
 - 学校における多様な体験活動の推進
 - 青少年教育施設の機能の充実
 - 農業体験活動を通じた食農教育の推進
 - 伝統的地場産業に関する学習体験の拡充
- ④ 環境教育の推進
 - 体系的な環境教育の推進
 - 体験を重視した環境学習の充実
 - ユネスコスクール参加校の拡大
- ⑤ ふるさと教育の推進
 - 学校教育の中での「ふるさと福井」の理解の促進
 - 「元気ふくいっ子ふるさと貢献プロジェクト」の推進
 - 地域資源の活用によるふるさと教育の推進
 - 伝統行事等への参加促進
 - 先人に学ぶ機会の提供
 - こども歴史文化館の充実
- ⑥ 読書活動の推進
 - 家庭における読書活動の推進
 - 地域における読書活動の推進
 - 学校での読書活動の推進
 - 読書活動を支える環境整備と人材の育成

2 健やかな体の育成

- ① 体力・運動能力の向上
 - 児童生徒の体力の維持向上
 - 運動部活動の充実
- ② 健康教育の推進
 - 学校保健活動の強化
 - 子どもたちの「眼と歯の健康プロジェクト」の推進
 - 薬物乱用防止教育の推進
- ③ 食育の推進
 - 栄養教諭を中心とした学校での食育の推進
 - 「おいしい地場産給食」の実現
 - 食育推進に向けた家庭・地域への啓発

3 生徒指導・教育相談体制の充実

不登校出現率の推移(小・中学校)



- ① 不登校対策の充実
 - 未然防止に重点を置いた福井型不登校対策の推進
 - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な配置
 - 保幼小・小中・中高連携の推進
- ② 生徒指導・教育相談体制の充実
 - 問題行動の未然防止
 - 教育相談体制の充実と関係機関との連携強化

3 信頼される学校づくりの推進

教職員の資質の向上や学校運営の改善、学習環境の整備・充実などにより、質の高い学校教育を推進します。
また、私学教育の充実を図ります。

1 学校マネジメント改革の推進

- ① **スクールプランの達成と教職員評価システムの構築**
 - スクールプランの充実
 - 教職員評価システムによる活力ある学校づくり
 - 教職員がやりがいを持って児童生徒と向き合える環境づくり
 - 教職員の心身の健康保持
- ② **部活動改革の推進**
 - 運動部活動ガイドラインの策定
 - 「拠点校方式」の導入
 - 運動部活動と総合型地域スポーツクラブとの連携促進
 - 地域における文化部活動の発表の支援
- ③ **学校・家庭・地域が一体となった教育の推進**
 - コミュニティスクールの機能向上
 - 中学校区内での総合的な学校応援体制の整備
 - オープンネットワーク教育の推進
 - 家庭等への情報発信の推進
- ④ **小規模校での教育の振興**
 - 学校間・学校種間のネットワークの強化
 - 少人数学習集団の特長を活かした授業方法等の研究や研修の充実
- ⑤ **小・中学校の統廃合への適切な対応**
 - 小・中学校の統廃合のための支援策の充実
 - 空き校舎活用への支援

2 安全・安心な学校づくり

- ① **学校施設の耐震化の推進**
 - 学校施設の耐震化の優先実施
- ② **安全対策の充実**
 - 学校安全体制の整備
 - 安全教育の充実
 - 防災教育の推進
 - 地域の防犯団体等との連携の促進
 - 安全で明るい通学路の整備

3 県立高等学校の再編整備と魅力ある学校づくり

- ① **県立高等学校の再編整備と魅力ある学校づくり**
 - 学校再編による教育環境の充実
 - 普通科系高等学校における進学指導の向上
 - 魅力ある職業教育の推進

4 私学教育の振興と支援の充実

- ① **特色ある私学教育の振興**
 - 魅力ある学校づくりや特色ある教育活動等への支援
 - 保護者の負担の軽減
- 教育環境の充実
- 公私共通の諸課題への対応
- 私立学校における経営の健全性の確保

4 家庭・地域の教育力の向上

子どもたちが学力や体力だけでなく、生きていくための総合的な力を身に付けるためには、家庭や地域との連携が必要不可欠です。
本県の地域性を十分生かした、家庭・地域と学校との連携を充実します。

1 家庭・地域の教育力の向上

- ① **家庭の教育力の向上**
 - 「親育ち」支援の充実
 - 保育所や幼稚園と連携した「親力」の向上
 - 「子育ての知恵」の継承
 - 子育て支援機能の充実
- ② **地域の教育力の向上**
 - 地域づくり・人づくりの推進
 - 地域による学校支援の充実
 - 放課後子どもクラブの拡充

5 生涯学習とスポーツの振興

県民の学習ニーズに応える質の高い学習機会を提供し、活力ある生涯学習社会を実現します。
また、平成30年の国民体育大会の開催を契機として、県民が生涯にわたって身近にスポーツを楽しめる環境をつくります。

1 生涯学習の振興

- ① **生涯学習環境の充実**
 - 多様で魅力ある講座の提供
 - ボランティア講師の活動に対する支援
 - 在宅受講システムの整備

2 生涯スポーツの振興

- ① **スポーツを通じた健康づくりの推進**
 - スポーツを通じた県民の健康・体力の向上
 - スポーツを身近にする環境づくり
 - スポーツイベントの誘致・開催
- ② **平成30年の福井国体に向けた競技力の向上**
 - 選手の育成と強化
 - 指導者の育成と確保
 - 「1県民1参加、1スポーツ」の環境の整備

6 心豊かな文化の振興

県民が文化芸術に身近なところでふれ、文化に関心を持ってもらうきっかけをつくり、それを本格的な文化活動へとつなげていけるように、暮らしの中で文化を楽しむ風土をつくります。

1 身近に文化を感じる環境づくり

- ① **「見る」から「楽しむ」「参加する」文化へ**
 - 身近に芸術を親しむ場の創設
 - 身近な文化を見つめ直し後世に継承
 - ふるさとの歴史・文化の研究
- ② **文化施設をもっと身近に**
 - 住民参加型の企画運営
 - 子どもの創造力を育む美術館
 - 福井ゆかりの人物や福井の歴史の発信

2 文化教育の推進

- ① **文化教育の推進**
 - すべての子どもたちが一級の芸術・文化に触れる機会を拡充
 - 地域の文化活動家からの学び
- ② **文化の創り手・演じ手の育成**
 - 地域グループなど文化団体（活動者）の支援の充実
 - 子どもたちの文化活動の質の向上
 - 次世代アーティストの育成

3 「文字の国 福井」の推進

- ① **「文字の国 福井」の推進**
 - 文字文化の普及
 - 県内外への発信
 - ゆかりの作家や詩人の作品に親しむ「ふるさと文学館」の整備